

Parti

パーティ

特集

性暴力のない社会を目指して〜被害者支援とその現状〜…2

講座・イベント れぽ〜と	4
ち・い・き Pick up!	11
相談ルームから	12
情報ライブラリーから(本の紹介)	13
平成30年度前期講座案内	14
インフォメーション	16
✦ おすすめシネマ	13



パーティとは？
 “参加・参画”を意味する Participacion（スペイン語）から引用された、とちぎ男女共同参画センターの愛称です。

性暴力のない社会を目指して

～被害者支援とその現状～



2017年7月、性犯罪についての刑法の規定が明治時代に現行刑法が制定されて以来、110年ぶりに改正されました。最近では、SNS上で「#Me Too (私も!)」と声を上げ、過去に受けたセクハラや暴力被害を訴え、性暴力をなくしていこうという活動も世界で広がっています。社会全体の問題として、性暴力そして被害者への支援について、考えてみませんか？

性犯罪・性暴力被害者は、心身に大きなダメージを受けているにもかかわらず、その多くは被害に遭ったことを誰にも相談できずに苦しんでいます。そのような悩み苦しむ被害者を支えるために2015年に設立された、とちぎ性暴力被害者サポートセンター「とちエール」にお話しをうかがいました。

Q:とちエールでは、どんな支援をされているのですか？

まず、性被害を受けた方からお電話があった場合、来所いただいて、女性相談員や看護師が事件被害の状況をお聞きします。医師の診察や、緊急避妊薬（アフターピル。性行為から72時間以内に服用することで妊娠を防ぐ）の処方をする場合もあります。

その後、じっくりと相談にのったり、専門的なカウンセリングや、女性弁護士の法的支援につなげたりします。ソーシャルワーカーも関わり、警察との連携も必要です。相談の中には児童虐待のケースもあります。

被害者の方は何度も被害について聞かれるとつらいので、スタッフ（相談員、看護師、ソーシャルワーカー）が聞き取った被害内容を、医師や専門家に伝え、二次被害が無いように努めています。

2016年度は、電話相談が125件、来所相談が54件でした。

Q:なかなか被害を話すことができない方も多いのでは？

はい。最初は無言の電話相談も多く、「自分にも非があったのでは」とためらう方が多いです。被害を話し始めることはとても勇気が要ることです。「あなたは悪くない。暴力をした方が100%悪いんだよ」と何度も伝えます。相談を重ねて、やっと「警察に被害届を出そうかな」という方もいますので、相談者の同意を得たうえで警察と連絡を取り、警察まで同行し、女性警察官につなげます。

Q:親からの性的虐待の相談もあるのですか？

中学校と高校を通して相談カードを配布したところ、18歳未満の相談も増えてきました。父親からの性的虐待を母親に相談できず孤立していることが多いです。友達に相談していて、友達が養護の先生に相談し、そこからとちエールにつなげることが多いです。

また、生徒間の性暴力、先輩からの性被害もあります。この場合、学校は被害者と加害者の両方への支援が必要で、大変です。学校や児童相談所との連携が欠かせません。

Q:様々な支援をする中で、難しいと感じることは？

まだまだ、「被害を受けた女性にも非があるよね」という「レイプ神話」が世間に残っています。被害女性が好奇の目で見られてしまい、孤立し、転校や引っ越しせざるを得ないなどは、とても理不尽です。何十年も昔の性的暴力被害をだれにも話せなかった、という相談者もいます。

また「レイプ」というと、見知らぬ人から暗闇で襲われるというケースが多いと思われるがちです。もちろんそのような事件もありますが、身内や顔見知りが増える場合が多いです。「加害者が伯父だが、誰かに相談したら伯父が逮捕されるのでは？」高校卒業して家を出るまでがまんするしかない？という場合は、最善策を一緒に考えます。顔見知りの相手に、飲み会で睡眠薬を入れられてレイプされた「レイプドラッグ」による被害もあります。また、夫婦間であっても、合意のない性行為は性的暴行、性的DVです。

しかし、「痴漢が性犯罪だと思わなかった」と言う男性も未だにいます。このような偏見をなくし、社会全体で被害者に寄り添わなければいけません。



Q: 性暴力を防ぐために必要なことは?

男性優位の社会で、女性の「性的自己決定権」が確立されていません。「望まない性行為にNOと言える」、「避妊してと言えらる」ことが当たり前になり、対等な関係での性行為が前提にならなくてはなりません。

そのためには性教育を変えていく必要があります。性的メディアの影響もありますが、「男性は性欲を抑えられない」「嫌よ嫌よも好きのうち」などの神話をなくしていく。相手の将来を大切に想えば、妊娠や中絶を防ぐ避妊が必須、という性教育を早い段階で伝えなければなりません。

男らしさ・女らしさの刷り込みをなくし、対等なパートナーシップを築く教育が必要です。パーティがされている学校での「デートDV防止教育」も効果的だと思います。

Q: これからの支援における展望は?

刑法が「強姦罪」から「強制性交等罪」に変わり、男性の被害にも対応していく準備が必要です。

そもそも、(たとえばソーシャルワーカーになるために) 社会福祉を学ぶ大学等においても、女性相談や性暴力相談支援は新しい分野であり、私たちスタッフも勉強の毎日です。各都道府県に一カ所は「性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター」が設置されている途上ではありますが、「横のつながり」で情報交換し、スキルアップし合うことが必要です。

何よりも、県内の学校、男女共同参画センター、警察等との連携や、被害者に近い支援者の方との共通認識を深めることも大切です。

何度も言うように、社会全体の性暴力への認識を高めていくことが必要です。「私には関係ない」でなく、「自分の身近な大切な人も被害にあっているかも」と、一人一人が自分のこととして考えてほしいです。



とちエールおすすめ動画 [tea consent]

性行為の「同意」を、紅茶を飲むことに例えたアニメ。2015年イギリスの警察が作成。YouTubeで見られます。

tea consent 日本語

検索

参考サイト：内閣府作成

「薬物やアルコールなどを使用した性犯罪・性暴力って?」

http://www.gender.go.jp/policy/no_violence/dfsai/index.html

とちぎ性暴力被害者サポートセンター とちエール 電話・来所相談

済生会宇都宮病院内 (宇都宮市竹林町9-1-1)

●相談電話番号 028-678-8200

●相談時間 月曜日から金曜日 9時から17時30分 土曜日 9時から12時30分 緊急医療受付は22時まで (日・祝・年末年始を除く)

●相談内容 ・緊急避妊・性感症検査等緊急医療 ・相談・カウンセリング等心理的支援 ・弁護士による法律相談 ・付添、生活上の必要な支援 等



とちエールのサイト

性暴力関連の本・資料のご紹介

パーティ情報ライブラリーで貸出、閲覧できます。

本



性犯罪被害にあうということ
小林 美佳【著】
朝日新聞出版



性暴力 その後を生きる
中島 幸子【著】
NPO法人レジリエンス



13歳、「私」をなくした私
性暴力と生きる
ことのリアル
山本 潤【著】
朝日新聞出版

山本さんは被害当事者らと、法人として日本初の性暴力被害者団体「(一社)Spring」を設立しました。
ブログ
<https://ameblo.jp/spring-voice-org/>

資料



小学生向け
性暴力予防啓発リーフレット
からだをまもる
～性暴力って何?～
栃木県くらし安全安心課
発行

「CHANGE! ~変わろう、自分のために。変えよう、未来のために。」 フェスタ in パルティ2017を開催しました

子どもから大人までさまざまな世代が交流を深め、元氣と笑顔があふれるフェスタとなりました。

11月25日(土)「CHANGE! ~変わろう、自分のために。変えよう、未来のために。」をテーマに、フェスタ in パルティ2017を開催しました。

誰もが安心して暮らせる男女共同参画社会の実現を目指して、パルティを拠点に県内で元氣に活動する63の団体・グループが日頃の活動の成果を発表しました。

男女共同参画を考える発表や展示、親子で一緒に楽しめる体験コーナー、様々な手作り品の販売やパフォーマンスの発表、県内で女性の活躍推進に取り組む企業の紹介のほか、災害時に子どもを守る知恵を伝える「防災ママカフェ」の開催や、ミニ避難所体験、情報誌パルティの表紙絵でおなじみの「よしこSUN」の原画ギャラリーなど、多彩な企画が盛り込まれました。

11月25日(土)「CHANGE!
~変わろう、自分のために。変えよう、未来のために。」をテーマに、
フェスタ in パルティ2017を開催
しました。



男女共同参画を考える発表や展示



フィンランド研修の報告
【とちぎつばさの会】



情報誌パルティ表紙絵
【よしこSUNギャラリー】



避難所で役立つ! ハンドマッサージを学ぶ【夢咲会】

親子で楽しめるコーナー



こども薬剤師体験でリケジョを目指す!
【地域薬剤師スキルアップ研究会】



食育ゲームにチャレンジ!
【とちぎアグリプラザ】



段ボールベッドや間仕切り、授乳室、簡易トイレの展示【パルティ】

パフォーマンス・販売



笑って元気に!
【とちぎ真岡笑いヨガクラブ】



男性料理グループによるポテトの販売
【ぐる〜ぷいろりの会】



様々な手作り品の販売

とちぎ女性チャレンジ応援事業

- ①男女共同参画セミナー公開講座2017 (12月)
- ②イクボスセミナー (9月・2月)
- ③男性の働き方見直し講座 (11月・12月)
- ④イクメン応援講座 (7月)
- ⑤女性のキャリアアップ支援キャリア・マネジメント講座 (7月～11月)
- ⑥女性活躍ネットワーク事業
- ⑦男女共同参画地域活動推進講座 (7月～10月)
- ⑧とちぎ女性地域交流会 (12月)
- ⑨とちぎウーマン応援塾 (7月～10月)
- ⑩ワーク&ライフデザイン講座

女性をはじめ、誰もが自らの希望に応じた形で職業生活と家庭生活の両立が出来る、働きやすい職場を増やしていくために、企業や団体等と連携しながら、とちぎの女性を応援する様々な取組みを実施しました。



男女共同参画セミナー 公開講座2017

12月

「男女共同参画はなぜ進まないの? ~おばちゃん目線で見るとニッポンの課題~」

講師：大阪国際大学准教授・大阪大学非常勤講師

全日本おばちゃん党代表代行 谷口 真由美 氏

社会において女性が活躍することへの期待や、多様な働き方への理解が広まりつつありますが、一方、日本の男女共同参画は世界に比べて遅れていると言われていています。

「みんなで良くなるために知恵を出し合うことが男女共同参画」と、谷口氏。男女共同参画社会を実現するために、伝統や前例という言葉に縛られず、時代の変化に合わせて、一人ひとりが考えて次世代へ引き継いでいくことが大切であるとお話いただきました。

また、女性が管理職になる難しさについて、「女性に機会を与えるだけではダメ、管理職になるまでの学びや過程を重要視するべきだ」との提案もいただきました。

そして、女も男も辛い社会は誰も望んではいないこと、「ありがとう」「ごめんささい」「おめでどう」が当たり前になる社会にしていこうと話されると、笑顔を浮かべる受講者も多く、会場全体で課題を共有し、理解を深めることができました。

受講者からは「先生のお話を聞いて物事の見方が変わりました」「男女共同参画について改めて考えることができました」との感想が寄せられました。

第2回イクボスセミナー (県北会場)

2月

「サイボウズはいかにして100人100通りの働き方を実現したか」

講師：サイボウズ(株) 代表取締役社長 青野 慶久 氏

2月16日、国が進める働き方改革プロジェクトの外部アドバイザーである青野さんを講師に迎え、大田原市にて第2回イクボスセミナーを開催しました。

講師からは、「多様な個性を活かし生産性を高めるには目的を重視し、チームで共有・共感すること、チーム戦のための制度・ツール・風土を作ることが必要」とのお話をいただきました。

受講者からは、「多様な働き方の必要性が理解できました」「昨年からの働き方改革に取り組んでいるが、風土・給与制度の考慮不足など、考え直すべきことが良見え」との感想が寄せられました。



第1回イクボスセミナー (県南会場)

9月

「これからの時代のワーク・ライフ・マネジメント」

講師：(株)佐々木マネージメント・リサーチ

代表取締役 佐々木 常夫 氏

9月28日、ワーク・ライフ・バランスのシンボリック存在である佐々木さんを講師に迎え、足利市にて第1回イクボスセミナーを開催しました。

講師からは、「仕事も家庭も両立させるためのより良いタイムマネジメントの実現には、計画先行の戦略的な仕事術が重要であり、トップの意識と行動が会社を変える」とのお話をいただきました。

受講者からは、「従業員に対してどんな接し方をすれば良いのか勉強できた」「計画策定が仕事の時短に結びつく」ということに気がつきました。



男女生き活き地域活動フォーラム



▲パネルディスカッション

テーマ「毎日の暮らしの先にある地域活動を私たちが盛り上げよう」
 コーディネーター：
 石井大一郎氏（宇都宮大学准教授）
 パネラー：
 坂田恵氏（となりのグランマ）
 永島朋子氏（NPO法人いちかい子育てネット羽ばたき）
 岡本美智子氏（平成29年度とちぎウーマン応援塾受講生）

パネルディスカッションは、石井氏の進行のもと、これから活動に取り組もうとする岡本氏の疑問に、地域で活動を実践している坂田氏、永島氏が回答するという形で進められました。パネラーから、「自分の得意なことでも活躍しよう」「好きなことから取り組んでみては」など、参加者への激励の言葉をいただきました。

参加者からは、「自分でできることから始めていきたい」「様々な方法で同じ問題に取り組んでいることを知り、自分の活動にいかしたい」との前向きな感想が聞かれました。



▲受賞者と和田栃木県県民生活部長

【男女生き活き地域活動表彰
 優秀賞受賞事例】

- ・出前紙芝居（蔵の町子ファミリー）
- ・朗読劇（栃木県男女共同参画地域推進員日光市連絡会）
- ・子育て支援、親支援（となりのグランマ）
- ・「男女共同参画の視点で取り組む防災ハンドブック」配布（渡邊能辰さん）

地域における男女共同参画推進活動の活発化を図るため、「男女生き活き地域活動フォーラム」を開催しました。

まず、今年度創設された「男女生き活き地域活動表彰」の表彰式のあと、優秀賞を受賞した事例について、発表や報告を行いました。

7～10月

男女共同参画地域活動推進講座

7月にスタートした「男女共同参画地域活動推進講座」の第2回、第3回をそれぞれ9月9日と10月7日に開催しました。

第2回は、那須塩原市において、宇都宮大学の石井氏に「ファシリテーション」をテーマに御講義いただき、安心して発言できる場作りや、意見をまとめ見える化する手法を学びました。

第3回は、小山市において、公益財団法人とちぎ男女共同参画財団の職員が「パルティ防災プログラムを体験」と題して講義し、防災における男女共同参画の視点の重要性や、支援者としての活動事例を学びました。

受講者からは、「今後の活動にすぐに役立つ知識を身につけられた」「楽しみながら理解できた」との感想が寄せられました。



▲グループワークでファシリテーションを学びました

7～10月

とちぎウーマン応援塾（全6回）

新たなチャレンジを目指す女性を支援し、様々な分野で活躍する女性を育成することを目的とした「とちぎウーマン応援塾」を実施しました。

女性が活躍していく上で必要とされるリーダーとしての資質の向上を図るため、統計の読み解き方や自分の考えや思いを表現するスキル等を、6回に渡る講義やグループワークを通して学びました。最終回の模擬会議では、受講生が架空都市とちまる市の地域リーダーとなり課題に取り組み、とちまる市への要望書を作成しました。

今年度は14名が修了しました。



▲実際の雰囲気さながらの模擬会議に、討論も白熱。要望書を作成し、想いをカタチにしました

とちぎ女性活躍応援フォーラム2017



▲受賞者と鈴木誠一栃木県副知事、末廣啓子とちぎ女性活躍応援団企画委員長



▲パネルディスカッション

11月10日、栃木県は、女性の活躍や働き方改革を推進する機運を醸成するため、「とちぎ女性活躍応援フォーラム2017」を開催しました。

第一部では、今年度創設された「男女生き活き企業」表彰式を行い、副知事から優秀賞受賞企業3社へ表彰状及び記念品を授与しました。

第二部の基調講演では、(独)労働政策研究・研修機構の池田心豪主任研究員から「男性も育児・介護等で働き方に制約が生じる時代。私生活のリスクが離職や、事故等で仕事に影響する可能性があるため、私生活を気軽に話せる雰囲気づくりは重要なリスク管理につながる」とお話しいただきました。

第三部ではパネルディスカッションが行われ、参加者は「男女ともにいきいきと活躍できる」とちぎ」の実現に向け、決意を新たにしました。

- 「男女生き活き企業」優秀賞
- ・ ケーブルテレビ株式会社
- ・ シーデーピージャパン株式会社
- ・ 株式会社スキット



地域で活動するみなさまへ
とちぎ女性活躍応援団に登録しませんか!?

栃木県では、女性の活躍推進と一緒に取り組んでいただける団体を募集しています。

この応援団は、地域で活動するグループも対象となります。ご登録いただけますと、「とちぎウーマンナビ」からグループの紹介ができ、活動のPRにもお使いいただけます。地域で活動しているみなさま、ご登録お待ちしております!

※登録は で検索
あるいは、右のQRコードからアクセス!



とちぎのすべての女性のための活躍応援ナビ
TOCHIGI WOMAN NAVI

合言葉は「ONE-UP!WOMAN」。男性も女性もいきいきと暮らせる社会の実現を目指すため、県内の女性や企業・団体向けに様々な情報を発信しています。

県内で活躍するとちぎの女性や男性からのメッセージを掲載する「ONE-UP!WOMANインタビュー」、それぞれのライフステージの女性のニーズにあった情報を一元的に入手できるポータルサイト「とちぎの女性応援情報」、オール栃木体制で女性の活躍を応援する「とちぎ女性活躍応援団」や「男女生き活き企業」認定・表彰制度の紹介など、様々なコンテンツを通して、女性の「なりたい自分に近づく一歩」や企業・団体の女性の活躍推進の取組を応援します。ぜひご活用ください!



女性のキャリアアップ支援 キャリア・マネジメント講座、交流会

7~11月



▲自身のキャリアを見つめ直す受講生



▲職種を越えて、たくさんの方と交流を深めました

企業等で活躍が期待される女性社員の方を対象に、ネットワーク構築のための支援や指導的地位に就く女性の能力開発を目的として開催している本講座。今年度は、全6回の日程で第4期生27名が受講しました。

11月10日には「とちぎ女性活躍応援フォーラム2017」に参加し、経営者の立場から女性活躍推進について学んだ後、第1期生、第3期生やその上司の方々と交えた交流会も開催しました。

交流会では、各自の自己紹介からはじまり、講座を通して学んだこと、今後の抱負を、参加者全員に宣言していただきました。また、活発な意見交換から、受講年度を越えて繋がりも深まり、多いに盛り上がる交流会となりました。

受講生からは「多種多様な皆さんと一緒に学べて、大変刺激を受けました」「自分の仕事に対しての思いを言葉にするとてもいい経験ができました」との感想が寄せられました。

男性の働き方見直し講座 (全2回)

11~12月

近い将来介護を担う必要が見込まれる世代の働く男性を対象に、介護や家事の知識や技術を身につけ、親や配偶者の介護に直面した際の介護離職を防ぐとともに、仕事と家庭の両立について考えるきっかけを作ることを目的に「男性の働き方見直し講座」を開催しました。

第1回目は、「これだけは知っておきたい！介護のキホン」をテーマに、東京海上日動ベটারライフサービズ株式会社の小林隆雄氏から、介護問題の現状と介護保険制度の基礎知識についてデータや実例を用いて解説いただき、介護離職を防ぐための方策について学びました。また、日本赤十字社栃木県支部の菅谷美帆氏、田口里香氏の講義では、実際に介助体験を行うことで、体のメカニズムや介助のコツについての理解を深めました。

第2回目は、宇都宮文星短期大学の藤生恵子氏を講師に迎え、「自分も家族も楽しめる！オトコの簡単料理講座」をテーマに、調理実習を通して、家庭料理の基礎や、ちょっとした工夫で、通常の食事を介護食へと展開する方法を学びました。

受講生からは「将来必ず必要となることが学べて、今後の生活設計にも役立ちました」「親の介護で早速実践します」「通常料理に一手間かけることにより、介護食へ発展出来ることを体感できました」との感想が寄せられました。



▲皆さん、真剣なまなざしで料理に取り組みました



▲介助実習の様子

チャレンジショップ

5~3月

第1期 H29.5.2~H29.7.30

ママさぼサロン
WOOD in

担任 陽子

・木の子供広場
・ママサボさんの小動物販売
・リラクゼーション

軽食喫茶
メグリーン cafe

坂本 恵

世代を問わずくつろげるコミュニティ
カフェ（軽食喫茶）

第2期 H29.8.1~H29.10.31

ブレ・サントール
「自分で創るいやしの空間」

菊地 敬子

・手作り雑貨販売
・手作り体験
・タイクハンドマッサージ

Beauty cafe
Charilu

坂本 恵

美容や健康に効果的な栄養素を入れた
ランチ、デザート、ドリンクの提供

第3期 H29.11.1~H30.1.31

サントール
～すべての出費いに感謝 おもいを
かたりに～

多田 かつり

・タイマテイクスセラピー（音響療法）
・タイマテイクス各種口の練習
・フットケアアイクワマッサージ
・ハンドメイドショップ

茶連家
～チャレンジ～

吉川 のり子

特製からあげをメインにした定食、
手作りデザート、ドリンクの提供



▲昼食時に賑わう「茶連家」



▲Beauty cafe Chariluの
「ムーン・コンサート」

とちぎ男女共同参画センターでは、「自分のアイディアを活かした商品を販売してみたい」、「実践的にサービスを学べる場が欲しい」など、夢を持って起業を目指す女性を支援するため、パルティ内にチャレンジショップを開設しています。平成29年5月2日から平成30年3月15日まで、既存のレストランススペースを2分割し1期を3ヶ月間として、起業に向けて意欲的に取り組む6人の女性たちによる個性豊かで特色ある様々なショップがオープンしました。

5月からの第1期では、木育をテーマに、木のぬくもりあふれるスペース「ママさぼサロン WOOD in」、世代を問わずくつろげるコミュニティカフェ「軽食喫茶 メグリーン cafe」が
出店。

また8月からの第2期では、手作り雑貨の販売や手作り体験、クイックハンドマッサージなどで癒されたい人のための「ブレ・サントール」、美容や健康に効果的な栄養素たっぷりのランチやドリンクなど、体の中から健康を目指す「Beauty cafe Charilu」。

さらに第3期では、11月に手作り雑貨の販売や音響セラピーの体験ができる「サントール」、12月にリーズナブルかつ味自慢の定食や手作りデザート、ドリンクを提供する「茶連家」が順次オープンしました。

お店を訪れた人は、様々な商品やランチメニュー、そして各出店者との交流を楽しんでいます。県では、今後も起業を後押しするため専門家への相談機会の提供など、チャレンジしたい女性を応援していきます。

女性への暴力を考える講演会 「DV環境で子どもが育つということ」 ～子どもの未来を守るために～

11月18日 講師：武蔵野大学名誉教授・臨床心理士 春原 由紀 氏



11月



▲具体的な事例をあげてわかりやすくお話しいただきました



▲質疑応答の様子
真剣に耳を傾ける参加者のみなさん

講演の中で示された、DV環境にある子どもが実際に描いた絵や生活の実態をアニメーション化したDVDは、大変衝撃的で、演題にある「DV環境で子どもが育つ」ということの意味を参加者に突きつけてくるものでした。

※面前DV：親が子どもの目の前で配偶者に暴力をふるうこと。

11月12日～25日の「女性に対する暴力をなくす運動」期間にあわせて、「女性への暴力を考える講演会」を開催しました。

平成29年8月、厚生労働省からの発表で、平成28年度中に児童相談所が児童虐待に係る相談として対応した件数（速報値）が、過去最多となったことがわかりました。

内容別に見ると、心理的虐待の割合が一番多く、なかでも面前DVの件数が増加しているということです。

こうした状況を踏まえ、本講座では、DVの被害は、被害者本人はもとより、暴力を目の当たりにする子ども、さらに、被害者本人と子どもの関係にも及ぶこと、また、そうしたDV環境が世代を超えて新たなDVの温床ともなりうることを理解していただくため、大学においてDV被害母子に関する研究と支援活動を実践してこられ、現在も相談臨床業務に携わっておられる春原先生に講演をいただきました。

生涯を通じた女性の健康を考える講座

2月

「笑い与健康～プラス思考で心も体も生き活きと～」
2月3日
講師：サン松本クリニック院長 松本 光正 氏

あらゆるライフステージにおいて、男女が心身ともに明るく健康な生活を送るためのヒントを学ぶことを目的として、「生涯を通じた女性の健康を考える講座」を開催しました。

松本先生からは、笑いやプラス思考が身体の健康に与える効果や日々の生活に笑いを取り入れるための方法を、医学的な立場から分かりやすくお話いただきました。

参加者からは、「心を健康に保つことの大切さを楽しく学ぶことができました」「大変説得力があり、ポジティブな気持ちになれました」といった感想が寄せられました。



▲先生の軽快な語り口に、会場全体が沢山の笑いに包まれました

とちぎ女性地域交流会(全2回)

12月

コーディネーター
12月5日 日光市 白鷗大学教授 堀 眞由美 氏
12月13日 栃木市 宇都宮大学特任助教 桑島 英理佳 氏

地域の様々な活動に興味・意欲はあるものの、活動の機会がなく踏み出せずにいる女性の方を対象に、気軽に話し合える場を提供し、地域活動をはじめのきっかけづくりを目的に、とちぎ女性地域交流会を日光市及び栃木市で開催しました。

各会場では、講師の方からの講話、実際に地域で活躍している女性の方から活動内容等について報告いただいた後、参加者全員でお茶を飲みながら、和やかに交流を深めました。

参加者からは、「たくさんの方々と交流ができてとても良かったです。一歩踏み出せそうです」「講話や活動報告が大変参考になりました」との感想が寄せられました。



▲栃木市



▲日光市

防災ママカフェ ～子どもの“いのち”を守るママになろう～

講師：(一社)スマートサバイバープロジェクト 特別講師 かもん まゆ 氏

11月



全国150カ所で8000人が参加した人気講座「防災ママカフェ」を本県で初開催しました。かもん氏は東日本大震災時、被災地のママと子どもたちへの物資支援を機に、200人の東北ママの声を集めた「ママのための防災ブック」を発行しました。

講演では、大地震が起きたとき、「子どものいのちを守るためにママがすべきこと」について時系列ごとに学びました。

○大地震の瞬間、部屋のあらゆる物が飛ぶ。窒息・圧死の原因の9割は住宅倒壊や家具転倒。頭を守り、しゃがみ、つかまること。事前に、家具が倒れないよう固定しておく。

○避難所は周囲のイライラや衛生面から、子どもや女性にとって安全な場所とは言えない。泣き声がうるさいと言われて居づらかったり、生活トラブルも多発。熊本では子育て世帯の多くが車中泊をしていた。

○子どもの食糧の確保が重要。事前に防災食を試食し、子どもが食べられるものを備蓄しよう。ふだんの食糧や生活物資を多めに買い置きしたり、子どもが使いやすい簡易トイレも準備を。除菌シートが重宝。

○いつものママバッグに「水、マスク」を入れておく。災害時に持てる荷物の重さは約10キロ。赤ちゃんが5キロなら、防災リュックは5キロまでに。親子で被災時の連絡方法や集合場所を話し合い、「備災」を。

参加者からは「地震の映像や被災地のママたちのリアルな声が胸にせまった。帰宅後、家族で話し合い、早速できることを始めた」という感想が寄せられました。

10

講座・イベント情報

パーティキャリア塾I

イライラを笑顔に変えるアンガーマネジメント講座

講師：Omage代表 接遇コンサルタント アンガーマネジメントファシリテーター 富沢 三輪子 氏

12月



より良い人間関係を築く上で、怒りのコントロールはとても重要です。自分や他者の怒りを理解し、どう対処したら良いか、どんな方法があるのかを講義、グループワークを通して学びました。

○「怒り」は、あって当然の感情で、自分を防御する感情。しかし、対処法を間違えると自分自身も周りの人も傷つけてしまうということになりかねない。

○私たちを怒らせるのは、こうあるべきという「べき」の感情。「べき」の基準は人や立場、環境によって異なるもの。「べき」の許容範囲を広げることで怒りに済む。

○怒るか怒らないかは自分で決められる。目の前の出来事が重要か重要でないか判断し、重要でなかったり、怒っても結果が変わらないのであれば怒らなくていい。他者を変えられなくても自分の思考や行動は変えられる。

自分も他者も傷付けず相手に怒りを伝える、という「アンガーマネジメント」のポイントを、講師の富沢氏自身の体験談などを交えつつ、リズムカルなテンポでお話してください、笑いに溢れた和やかな講座となりました。

受講者からは「日常に多く使えそうな内容で参考になった」「グループワークも交えて楽しく受講できてよかった」などの声が多く聞かれました。



ち・い・き pick up!

県内で開催された催しや、団体などの活動を紹介します。

女性による防火防災訓練～那須塩原市黒磯婦人防火クラブ連絡協議会



▲毛布で簡易担架



▲身近な道具で救出訓練

9月9日、黒磯公園で、那須塩原市黒磯婦人防火クラブ連絡協議会による防火防災訓練が開催され、337名の女性に参加しました。女性が中心の総合的な防災訓練は全国でも珍しいとのことでした。

平日昼間に震度7の地震が発生し、家屋倒壊、火災発生などを想定し、自宅にいる主婦や高齢者が助け合う設定としました。

消防署員の指導を受けながら、様々な訓練を行いました。

- 消火訓練…バケツリレーによる消火。煙体験。放水体験。
- 救出訓練…身近にある道具等を用いてベニヤ板と角材にはさまれた人形を救出。脱出・救出ロープの結び方習得。
- 搬送訓練…物干しざおと、毛布またはTシャツ5枚で作った応急担架で人を運ぶ。
- 応急手当訓練…骨折部分を雑誌や新聞紙で固定する方法等を習得。
- 通報訓練…119番通報装置を使用し、通報体験を行う。
- 給食訓練…非常食(アルファ米、ミックスマスターメン)の調理。

参加者の多くが、消防署員に質問をしながら真剣に訓練に取り組んでいました。

木沢トモ子会長は「女性パワーで那須塩原市の安全を守るため、災害活動技術を習得し、災害が発生した際は積極的に対応していただきたい」と語ります。

普段は研修会や講習会、防災訓練など、積極的な防火活動をしている婦人防火クラブ。地域防災に女性の力は欠かせません。

連絡先：那須地区消防組合
黒磯消防署
電話：0287-62-0736

とちぎつばさの会 フィンランドスタディーツアーの報告



▲NGO フィンランド国際諮問会にてスアンナ・ルーキネン氏と



▲ヘルシンキ市議会議員 アッテ・ハルヤンネ氏との懇談

2017年10月、とちぎつばさの会の有志15名がフィンランドを訪問しました。

男女共同参画の先進国で、女性の殆んどがフルタイムで働くフィンランド。社会全体が子ども誕生を歓迎し、切れ目のない支援を行っています。手厚い社会保障制度に圧倒される想いでした。注目すべきは、子どもが3歳になるまで親に休職することを保障し、その後、確実に職場復帰する権利を持てます。

そして世界トップレベルの学力を誇るフィンランドの教育は「生きる力を育てること」「子ども一人一人にあった教育」を目的とし、平等教育を掲げ公平性が保たれています。

ジェンダー領域における国家レベルの組織では、公的機関により、不平等を常に監視施行されていました。またDV問題が多く、現在救いを求めている人、将来求めるであろう人のために、ファーストホームが設立され、女性の支援が連盟の運営を助けています。現地に赴き、得られた学びは、つばさの会員が共有し、次へのステップにしたいと思います。

最後に、平等委員会のマイデル氏の言葉、「いつの日か『無意味な差別をしていた』と気づく日が来るであろう。」日本に於いても、一日も早い現実になることを願いたいものです。

〔執筆…とちぎつばさの会〕

こんにちは
相談ルームです。



「相談を迷っているあなたへ」

生きていくと色々な出来事があります。

「どうして」と思うことが起きてしまうことがあります。

人生には、三つの坂があるなどとも言われています。なんだ坂、こんな坂、そして「まさか」という坂だそうです。

なんだ坂、こんな坂まではどうにか登れても、「まさか」という坂になると簡単には登れないといえます。

混乱して考えだけが頭の中をグルグル回り続けて苦しいものです。

改めて相談するとなると話す勇気が必要になり、ただでさえエネルギーを使ってしまうと頭と心には更なる負担にもなります。

「誰か助けに来ないかな」「明日になったら全て解決していないかな」などと思いつつながら眠れない夜を過ごすこともあるで

しょう。

そんな時に、当センターの相談ルームを思い出してください。

あなたの話を聴かせていただき一緒に考えていきたいと願っている相談員が電話機の前でお待ちしております。

何から話したら良いのかという戸惑いもあると思いますが、どんなお話でもお受けできますのであなたのそのままをお話してください。

私たちと話すことであなたの思いや考えを整理して、「まさか」という坂を登ってみませんか。坂の上から見える景色は、今と違う景色だと信じて。

お問合せ

※いずれも祝休日・年末年始はお休みです

◆女性のための一般相談

電話 月曜日～日曜日 9時～16時

面接 火曜日～日曜日 9時～16時(予約制)

◆配偶者暴力相談

電話 月曜日～金曜日 9時～20時

土曜日・日曜日 9時～16時

◆女性のための健康相談(面接)

面接 火曜日～日曜日 9時～16時(予約制)

毎月 第1木曜日

16時30分～18時30分(予約制)

☎028-6655-8720

◆男性のための電話相談

毎週 月曜日・水曜日

17時30分～19時30分

☎028-6655-8724

不妊専門相談センターから

ひとりりで悩んでいませんか

栃木県不妊専門相談センターは、不妊症に関する医学的な情報の提供や精神的な悩みなどの相談をお受けしており、次のような相談があります。

○助産師による個別相談

「次の治療へのステップを勧められただけで迷っている」「自分の子どもがなかなか持てないことが辛い」「男性不妊はどこを受診したらよいのか」など、不妊に関することであれば、どのようなことでもご相談いただけます。

相談は、電話・メール・面接でお受けしています。

○医師による個別相談

主治医以外の医師の話を知りたいという方や、より専門的な相談を希望される方は、専門医師による面接相談が受けられます。

○助産師による相談会

不妊に関連した悩みをテーマに、助産師が講話を行います。

「パートナーとのコミュニケーションがうまくいかない」「治療を続けるかやめるか気持ち揺れている」など、参加された皆さんが抱えている悩みや疑問をお聞きしながら、話を進め

ていく会です。参加者同士でお話できる時間もあります。

不妊に関する悩みは、誰にも相談できず、ひとりりで抱えてしまうことも多いのではないのでしょうか。「不妊に関する情報が知りたい」「自分の悩みを聞いてほしい」「誰かと話したい」という方は、ひとりりで悩まず、当センターをご利用ください。

また、当センターでは、不育症に関するご相談もお受けしています。

お問合せ

※いずれも祝休日・年末年始はお休みです

●助産師による相談

火曜日～土曜日・第4日曜日

10時～12時30分、13時30分～16時

●助産師による相談会 4回/年開催(要予約)

●医師による相談 毎月1回開催(要予約)
産婦人科医師または、男性不妊専門医師(泌尿器科医師)がご相談に応じます。

詳しくは電話又はメールでお問い合わせください。

専用電話：028-6655-8099

Eメール相談：funin.fuku-soudan@parti.jp

パーティのホームページ

<http://www.parti.jp/funin/>に不妊に関する詳しい情報がご覧いただけます。



パーティの情報ライブラリーから 本の紹介

パーティには約20,000冊の図書があり、
ホームページからも検索・予約ができます。
ぜひご利用ください。 <http://www.parti.jp/>

一人でもだいじょうぶ 仕事を辞めずに介護する

おち とよこ【著】
(日本評論社)

さらば！介護離職。チェックリストで
自身の立ち位置に気づき、お役立ち情報
で具体的な手立てを知る。働く人が抱え
る、「10大介護不安」は、こうすれば乗り
切れる！



男も女もみんなフェミニストでなきゃ

チアマランダ・ンゴズィ・アディーチェ【著】
(河出書房新社)

わたしはハッピー・フェミニスト！
ディオールが同名ロゴTシャツを作り、
ビヨンセを始め全米が称賛したTEDス
ピーチ、待望の邦訳。フェミニズムを理
解するための最適の1冊。



後悔しない「産む」×「働く」

齊藤 英和、白河 桃子【著】
(ポプラ社)

「結婚は？」「子供は？」「仕事は？」
選択は自由と言われても、その方法は学校
でも家庭でも教わらなかった。女性とそ
のパートナーのための仕事・結婚・出産へ
の不安に対して、医療とキャリアの視点か
ら多数のデータやアンケートとともに応え
る。これから産みたい人、産んで働きたい
人、娘を持つ親にも必携の1冊。



みんなの防災えほん

山村 武彦【監修】、YUU【絵】
(PHP研究所)

避難場所がどこにあるか、知っていま
すか？災害がおこったとき、自分がい
つ、どこにいても、安全な場所へにげら
れるように学んでいこう！地震、津波、
台風、大雪、かみなり…。災害から身を
まもるためにできることはなにか、かん
がえるきっかけになる1冊！



おすすめシネマ

話題の映画などを紹介します。

「ドリーム」 2016年 アメリカ

NASAを支えた知られざるヒロインたち。
実話に基づく感動のサクセスストーリー

1961年、アメリカはソ連との熾烈な宇宙開発競争を繰り広げていた。NASAのラングレー研究所には、ロケットの打ち上げに欠かせない“計算”を行う優秀な黒人女性たちのグループがあった。そのひとり、天才的な数学者キャサリンは宇宙特別研究本部のメンバーに配属されるが、そこは白人男性ばかりの職場で劣悪な環境だった。仲の良い同僚、管理職への昇進を願うドロシー、エンジニアを目指すメアリーも、理不尽な障害にキャリアアップを阻まれていた。それでも仕事と家庭を両立させ夢を追い続けた3人は、国家的な一大プロジェクトに貢献するため自らの手で新たな扉を開いていくのだった……。



『ドリーム2枚組ブルーレイ&DVD』
ブルーレイ発売中
20世紀フォックスエンターテインメントジャパン

※(C) 2018 Twentieth Century Fox Home
Entertainment LLC. All Rights Reserved.

お申込み・お問い合わせは…

電話・FAX・ホームページ、または直接ご来館にて。
ホームページ <http://www.parti.jp/>

P14
の講座

県とちぎ男女共同参画センター
TEL 028-665-8323
FAX 028-665-8325



P15
の講座

(公財)とちぎ男女共同参画財団
TEL 028-665-7706
FAX 028-665-7722

パルティ 検索

4月4日(水) 9:00～ 受付スタート

男女共同参画地域活動推進講座

あなたのチカラが地域を変える！



●開催日・内容

- ① 7/14(土) 人前で話す実践トレーニング
- ② 8/25(土) ワールドカフェで地域活動を語ろう
- ③ 9/15(土) パルティ防災プログラムを体験
- ④ 1/19(土) 男女生き生き地域活動フォーラム
☆人権・青少年男女参画課主催

●時 間：13:00～16:00

●会 場：①佐野市 ②④パルティ ③矢板市

●対 象：男女共同参画地域推進員、地域で男女共同参画を推進することに意欲のある方

●定 員：各回30名程度

●受講料：無料 ●申込締切：各回先着順

●保育締切 ②8/10(金) ④1/4(金)

詳しくは当センターまでお問い合わせください。

※1講座だけの受講もできます。

キャリア・マネジメント講座 (全6回)

働く女性同士、ともに学び、そしてキャリアアップ！

●開催日：① 7/11(水) ② 7/27(金) ③ 8/24(金)
④ 9月中旬 ⑤10/ 5(金) ⑥11/ 8(木)

●時 間：①⑥13:00～19:00 ②③④⑤13:00～17:00

●対 象：企業等からの推薦を受けて、全6回受講できる女性の方

●定 員：30名程度

●受講料：5,000円

●申込締切：6/15(金)

※詳しくは当センターまでお問い合わせください。

不妊専門相談センター「助産師による相談会」

不妊に関する悩みや知りたいこと、疑問に思うこと等をテーマに助産師が話をします。

助産師や参加者同士での交流を通して、疑問の解決や気持ちの整理をしていきます。

●開催日 進行：不妊専門相談センター相談員

①6/16(土) ②9/30(日) ③12/21(金) ④2/24(日)

テーマは参加者のご要望に応じて決めていきます。

例) 「検査や治療はどう進む？お金はどれくらい必要なの？」

「焦りや孤独を感じたり、周囲の人と比べて落ち込むことはないですか？」 など

●時 間：13:30～15:30

●対 象：不妊に関連した悩みを持つ女性

●定 員：各回10名程度

●受講料：無料 ●申込締切：各開催日前日

※お申込は栃木県不妊専門相談センターまでお願いします。

平成30年度

前期講座のご案内

一時保育あり

対象講座と月齢(年齢)はこのマーク！



男女共同参画セミナー 県民講座



知って学んで考えよう！

●開催日・テーマ・講師

① 5/26(土)

多様な個性が輝く社会へ

～自分らしく生きる～性別違和を乗り越えて～

一般社団法人日本LGBT協会 代表理事 清水 展人

② 6/ 9(土)

世界一受けたいジェンダー論

～みんなで学ぼう！これからの男女共同参画～

東京大学大学院教授 瀬地山 角

●時 間：各回 13:30～15:30

●対 象：どなたでも

●定 員：各回100名

●受講料：無料

●申込締切：各回先着順

●保育締切：①5/11(金) ②5/25(金)

※1講座だけの受講もできます。

とちぎウーマン応援塾 (全6回)



女性(わたし)の想いをカタチにしよう！

●開催日

① 7/7(土) ② 8/4(土) ③ 8/30(木)～8/31(金)

④ 9/8(土) ⑤10/6(土) ⑥10/27(土)

●時 間：①②④⑤ 10:00～15:00

③県外研修 ⑥10:00～16:00

●対 象：審議会や自治会等の社会的な場に参画する意欲のある

女性、自ら一步を踏み出したいと考えている女性

●定 員：20名(選考あり)

●受講料：無料

●募集締切：6/8(金)

保育申込も同日締切(③は除く)

●申 込 先：お住まいの市町男女共同参画担当窓口・当センター

※詳しくは、当センターまたは居住する市町の担当窓口までお問い合わせください。

女性のための こころのケア講座(全12回)



DVやパワハラ、セクハラなどの経験によるこころの傷つきについて考え学んでいく講座です。

- 開催日・内容・講師 ※⑦～⑫は後期に実施
 - ① 5/24(木) DV・トラウマを理解する
 - ② 6/14(木) 「世間の粹」と私らしさ
 - ③ 6/28(木) 身体的暴力・性暴力
 - ④ 7/26(木) 精神的暴力・モラルハラスメント
 - ⑤ 8/23(木) トラウマに対応するツール
 - ⑥ 9/27(木) 傷つきによる喪失とグリーフ
- 認定NPO法人ウイメンズハウスとちぎ カウンセラー 藤平 裕子
- 時 間：10:00～12:00
- 対 象：女性（暴力経験の有無を問いません。当事者の家族や支援者の女性もどうぞ）
- 定 員：15名
- 受講料：各回500円
- 申込締切：各回先着順
- 保育申込締切：各回3週間前まで
- ※途中からの参加、希望の回のみ参加も可能です。

パルティ防災フォーラム (全1回)



様々なハンディを抱える人が暮らす地域の防災について考えます。誰もが安心できる避難所づくりを、みんなで共有します。

- 開催日・内容・講師
 - 7/25(水)
- 【午前】なぜ防災に男女共同参画の視点が不可欠なのか
- 【午後】実践！みんなにやさしい避難所運営
- 減災と男女共同参画研修推進センター 共同代表 浅野 幸子
- 時 間：10:00～15:00
- 対 象：防災に関わる方・関心のある方、ボランティア、男女共同参画地域推進員、高校生や学生、市町職員 ※小学生以上も同伴可
- 定 員：50名
- 受講料：無料
- 申込締切：7/11(水) ●保育締切：7/4(水)

イクメン応援講座 (全3回)



仕事も子育ても頑張りたいパパとママを応援！

- 開催日・テーマ・講師
 - ① 7/28(土) 夫婦で学ぶ産後ケア～産後クライシスを乗り越えよう！
認定NPO法人マドレボニータ 産後セルフケアインストラクター 吉田 紫磨子
 - ② 8/25(土) パパの働き方革命～ワークライフマネジメント実践講座
東経営研究所 ダイバーシティ&ワークライフバランス推進部 上席シニアコンサルタント 塚越 学
 - ③ 9/29(土) イクメン&ワーママ応援講座～夫婦で備えるママの職場復帰準備編
育児後コンサルタント® 山口 理栄
- 時 間：13:00～15:30
- 対 象：子育て中のカップル、出産を予定・希望しているカップル
- 定 員：30名(夫婦15組)
- 受講料：無料
- 申込締切：①6/28(木) ②7/25(水) ③8/29(水)
- ※希望の回のみ参加も可能です。

ワーク&ライフデザイン講座～仕事と子育て両立体験プログラム～ (全4回+子育てインターンシップ1回)

講座や子育てインターンシップを通し、学校を卒業して数年のことだけでなく、長期的・多面的に自分のキャリアについて考えてみましょう！

- 開催日・テーマ・講師
 - ① 6/9(土) 「なりたい姿ワーク」で、自分の未来を具体的にイメージ！
 - ② 6/16(土) 子どもの接し方や、子育てインターン先での取材の仕方
- 子育てインターンシップ 6月中旬～下旬のいずれか1日
共働き家庭などを訪問し、働きながら子育てをしているママやパパたちに取材
- ③ 7/7(土) 子育てインターンシップを通して学んだことをシェア
- ④ 7/21(土) 「なりたい姿」マップ作成
- 講師：スリール株式会社 代表 堀江 敦子 他
- 時 間：①～④13:00～16:00
子育てインターンシップ 平日夕方～20時まで。
- 対 象：大学生・短大生・新社会人
- 定 員：24名 ●受講料：無料 ●申込締切：5/31(木)

※上記は講座内容の抜粋です。詳しい講座内容については、パルティ・公共機関で配布している「講座案内(A3サイズ)」や各講座チラシでご確認ください。(ホームページでもご覧いただけます)

マドレボニータの「産後の心と体のセルフケア」 7月コース (全2回) 10月コース (全2回)



子育てには、母の心と体の健康が必要です！

- 開催日・内容・講師
 - 【7月コース】① 7/5(木) ② 7/12(木)
 - 【10月コース】① 10/4(木) ② 10/11(木)
- バランスボールを使った有酸素運動、コミュニケーションスキル、日常でできる具体的なセルフケアを学びます。
- 認定NPO法人マドレボニータ 産後セルフケアインストラクター 佐藤 直子
- 時 間：10:00～12:00
- 対 象：産後2カ月以降(産後は何年まででもOK)の女性
生後6カ月未満の赤ちゃんは同伴で参加可能
- 定 員：14名 ●受講料：2,000円
- 申込締切：7月コース 6/5(火) 10月コース 9/4(火)

家族ケア講座

～私からはじめる こころの手あて(全2日)



家族関係がぎくしゃくするとき、相手は変えられなくても、自分からできることがあるあります。セルフケアから新しい道を見出しましょう。

- 開催日・テーマ・内容(座学とワークショップ)・講師
 - ① 9/7(金) 家族の中のMaking Peace
キレない、タメない、コモらない 家族ケア講座～女性と子ども問題の視点から
 - ② 9/8(土) 私の中のMaking Peace
オレない、ヘタらない、ツブレない こころの手あて講座
- NPO法人TEENSPOST代表 思春期・家族カウンセラー 八巻 香織
- 時 間：10:00～16:00 ●対 象：20歳以上、どなたでも
- 定 員：20名 ●受講料：2,000円(別途教材費 1,300円<税別>)
- 申込締切：8/7(火)

女性と子どものための護身術 ～WEN-DO～ 親子クラス(午前) 女性クラス(午後)



女性、子どもの力でいざという時に自分を護る～危険な場面を回避する方法や、現場からとにかく逃げて助けを求める方法を学びます。

- 開催日・内容・講師
 - 9/1(土)
 - ① 講義 護"心"術(暴力に気づく、避ける/自分を大切にするには)
 - ② 実技 護身術(行動を起こす体の中の急所、防御の方法、手首をつかまれた時のはずし方など)
- リアライズYOKOHAMA代表 橋本 明子

	親子クラス	女性クラス
時 間	10:00～12:00	13:30～15:30
対 象	小学校1年生～3年生の児童と女性の保護者	小学校4年生以上の女性 (小学生は女性の保護者と一緒にご参加ください)
定 員	10組(20名)	20名
受講料	小学生500円 大人1,000円	1,000円(小・中・高校生は500円)
申込締切	8/1(水) ※保育締切同日	

女性のためのファイナンシャル・プランニング 技能検定3級 試験準備講座 (全14回)



FP3級取得を目指す実践的講座です。

- 開催日・内容・講師 栃木県ファイナンシャル・プランナーズ協同組合
 - ① 5/25(金) ② 6/1(金) ライフプランニングと資金計画
 - ③ 6/8(金) ④ 6/15(金) リスク管理
 - ⑤ 6/22(金) ⑥ 6/29(金) 金融資産運用
 - ⑦ 7/6(金) ⑧ 7/13(金) 不動産
 - ⑨ 7/20(金) ⑩ 7/27(金) タックスプランニング
 - ⑪ 8/3(金) ⑫ 8/24(金) 相続・事業承継
 - ⑬ 8/29(水) ⑭ 8/31(金) 試験の傾向と対策
- 時 間：10:00～12:00 ●対 象：女性 ●定 員：30名
- 受講料：14,000円(別途教材費5,000円程度) ●申込締切：5/9(水)
- ※試験日は9/9(日)です。受検希望の方は、別途受検料6,000円が必要です。

パソコン講座



再就職に向けたスキルアップを応援します！

- 開催日・内容
 - ① エクセル・ワード基礎編 平日コース 6/20(水)～22(金)、27(水)～29(金)
 - ② エクセル・ワード基礎編 土曜コース 9/15(土)、22(土)、29(土)
- エクセルでは簡単な表作成やSUM関数など、ワードでは文書作成
- ③ エクセル初級編 10/16(火)、18(木)、23(火)、25(木)、30(火)
- 基本操作の復習、COUNTA、RANK関数などデータベース機能の学習
- 時 間：①③10:00～12:00 ②10:00～15:00
- 対 象：①②マウス操作と文字入力可能な方
③基礎編修了者、または関数を用いた四則演算、表作成ができる方
- 定 員：各20名 ●受講料：①②7,000円 ③6,000円 ※教材費別途
- 申込締切：①5/22(火) ②8/14(火) ③9/13(木)

男女共同参画社会を考える “とちぎ県民のつどい”

- 開催日時・内容 平成30年6月23日(土)
10:00~12:00 映画「折り梅」の上映
13:00~13:20 式典
13:30~15:00 松井久子さん講演会
「自立して生きるとは?
~女性として、監督として」
※式典、講演会 手話通訳あり
- 会場 パルティ とちぎ男女共同参画センター ホール
- お申込み 栃木県女性団体連絡協議会 事務局
TEL・FAX 028-665-7710
(電話対応は火・木
10:00~16:00)
栃木県人権・青少年男女参画課
TEL 028-623-3074
(土日祝除く、8:30~17:15)



松井 久子さん
(映画監督)

日光市女性の活躍推進ガイドブック を作成しました。

事業所等における女性の活躍を推進するため、日光市女性の活躍推進ガイドブックを新たに作成しました。当ガイドブックでは、女性活躍に関する現状把握・課題分析ができるチェックシートや、女性活躍を推進するための具体的な取組事例を掲載しております。

また、ワークライフバランスや女性の人材育成などの各分野でご活躍されている方々に、女性リーダーになるための心構えやワークライフバランスの取組方法などをご寄稿いただきました。

ぜひ、当ガイドブックをご覧ください、女性の活躍の取組にご活用ください。

詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

<https://www.city.nikko.lg.jp/jinkendanjo/jyoseinokatuyakusuisinn.html>



パルティをご活用ください!



パルティ とちぎ男女共同参画センターには、ホールや研修室・調理室・OA研修室・パフォーマンススタジオなどの施設が充実。会議や研修、イベントなど、さまざまな場面でご利用いただくこと

ができます。また、女性の活躍推進やワーク・ライフ・バランスの勉強会など男女共同参画を直接の目的とする活動の場合、利用料金の減免制度があります。お気軽にご相談ください。

ご利用方法

- まずはお電話で、ご希望の施設名・ご利用日・参加人数などをお知らせください。貸出状況をお調べします。
受付時間/9:00~17:00 TEL/028-665-7700
- お申し込みはご利用日6ヵ月前(営利目的は5ヵ月前)より承ります。受付期間は、ホールはご利用日の20日前まで、研修室などは7日前までです。
- ご利用料金は施設により異なります(営利目的はその倍額)。詳しくはお問い合わせください。
- パルティのホームページで施設の詳細や貸出状況、ご利用料金をご覧くださいことができます。
<http://www.parti.jp/>



パルティ とちぎ男女共同参画センター

開館時間/9:00~21:00(日曜日は17:00まで)

休館日/毎週月曜日

国民の祝日

12月29日~1月3日

施設のご利用/会議・イベント等にご利用ください。(有料)

利用お申込み/窓口受付時間9:00~17:00

ホームページで各研修室等の予約状況をご覧くださいませ。

(閲覧のみ)

情報誌のご意見・ご感想をお寄せください

編集・発行/公益財団法人とちぎ男女共同参画財団

〒320-0071 宇都宮市野沢町4番地1

TEL.028-665-7700(代) FAX.028-665-7722

※おかけ間違いのないよう、お願いします。

URL/<http://www.parti.jp/>

表紙作者/よしこSUŪN

印刷/株式会社井上総合印刷

